



いのちを守るために 防災意識を高める

近年の災害が激甚化、頻発化する中、災害のリスク情報が正しく理解されないうまま、避難が遅れて高齢者などが犠牲となるケースが増えています。

「誰一人取り残さないまちづくり」を実現するために、本市が重視して取り組んでいることは、「市民一人ひとりの防災意識の向上」です。万々に備えて、日頃から自分や家族の避難について、家族で話し合い、共有しておきましょう。

また、一人では避難などが困難な人に対して、必要な支援を市全体で支える体制づくりも推進しています。



一人ひとりの防災意識の向上

事前にハザードマップを確認し、自宅や地域の危険を把握するとともに避難場所・経路を確認しておきましょう。「自らの命は自らで守る」という意識が大切です。自宅の危険性を正しく認識し、自らの防災行動を考え、日頃から家族で共有しておきましょう。

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認して、印をつけてみましょう。

必ず取り組みましょう

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市からの避難情報を参考に、必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があります！
自宅の外に避難が必要です。

例外

浸水の危険があっても、

- ① 洪水により家屋が倒壊または崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
- ② 浸水する深さよりも高いところにいる
- ③ 浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は、自宅にとどまり安全確保することも可能です。

自分や一緒に避難する人は、避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親せきや知人はいますか？

はい

警戒レベル3が出たら、安全な親せきや知人宅に避難しましょう（日頃から相談しておきましょう）。

いいえ

警戒レベル3が出たら、市が開設している指定緊急避難場所に避難しましょう。

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親せきや知人はいますか？

はい

警戒レベル4が出たら、安全な親せきや知人宅に避難しましょう（日頃から相談しておきましょう）。

いいえ

警戒レベル4が出たら、市が開設している指定緊急避難場所に避難しましょう。

マイタイムラインを作成

台風や大雨などの風水害時に、自分自身や家族のとるべき行動について「いつ」「誰が」「何をするか」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の防災計画です。

ステップ1

危険を知る

ハザードマップなどで自宅周辺の危険の種類と程度を確認しましょう

ステップ2

防災行動を考える

- ・災害発生時に自分自身が「いつ」「何を」すべきかを考え、「私の防災行動」の欄に記入しましょう
- ・家族の連絡先を書き出しましょう
- ・連絡が取れない場合の行動も考えておきましょう
- ・避難時の持ち出し品をリストアップしましょう
- ・避難時に支援が必要な方は、支援内容を書き出しましょう

ステップ3

防災情報入手先を確認する

- ・必要な情報の入手手段を確認しましょう
- ・登録制のメール配信サービスや防災アプリなども活用しましょう

ステップ4

避難場所を確認する

- ・ハザードマップで自宅周辺の避難場所を確認しましょう
- ・災害によって避難所として適、不適があります。また、状況により開設されない避難所もありますのでご注意ください
- ・浸水や土砂災害のおそれのない親族・知人宅への避難も有効な避難方法です

風水害時の行動

避難情報など	状況・居住者がとるべき行動	私の防災行動	
警戒レベル5 緊急安全確保	災害発生または切迫 命の危険 直ちに安全確保！	<p>家族全員●●へ避難する (家族全員に連絡)</p> <p>祖母を連れて●●へ避難する (家族全員に連絡)</p> <p>非常持出品、備蓄品の確認。家族全員の居場所を確認</p> <p>気象情報を確認する</p>	
(警戒レベル4までに必ず避難！)			
警戒レベル4 避難指示	災害のおそれが高い 危険な場所から 全員避難		
警戒レベル3 高齢者等避難	災害のおそれあり 危険な場所から 高齢者などは避難		
警戒レベル2 大雨・洪水注意報	気象状況悪化 自らの 避難行動を確認		
警戒レベル1 早期注意情報	今後気象状況悪化のおそれ 災害への 心構えを高める		

感染症環境下での行動

感染症環境下でも、災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則

- 避難とは「難」を「避」けること。安全な場所にいる人は避難場所に行く必要はない
- 避難先は、避難所だけでなく、安全な親せき・知人宅に避難することも考える。
- マスク・消毒液・体温計はできるだけ自ら携帯
- 豪雨時の屋外の移動は車も含め危険。やむをえず車中泊をする場合は浸水しないよう周囲の状況などを十分に確認
- 避難所での感染対策は避難所運営者の指示に従う
- 避難先でも、密の回避、手指消毒の徹底、マスクエチケットなどを徹底

準備ができれば
チェックしましょう

避難行動において配慮を希望する事項

祖母は寝たきりなので避難するときは隣人の●●さんに助けてもらう(連絡済み)

自力で避難できない要配慮者などがある場合は近くに手助けできる人を探しておきましょう

非常持出品の準備

<input checked="" type="checkbox"/> 飲料水・食料(3日分)	<input checked="" type="checkbox"/> 現金、カード
<input checked="" type="checkbox"/> 懐中電灯	<input checked="" type="checkbox"/> 身分証
<input checked="" type="checkbox"/> 保険証、常備薬	<input checked="" type="checkbox"/> 生理用品
<input checked="" type="checkbox"/> メガネ	<input checked="" type="checkbox"/> モバイルバッテリー
<input checked="" type="checkbox"/> 着替え・雨具	<input checked="" type="checkbox"/> 祖母の常備薬
<input checked="" type="checkbox"/> ミルク・おむつ	<input type="checkbox"/>

必要なものにチェックをし、追加で必要なものがあれば書き込んでおきましょう

緊急連絡先

名前	電話番号	名前	電話番号
勤務先	●●●・●●●・●●●●	防災行政無線	072・752・2198
父の会社	●●●・●●●・●●●●	市役所	072・752・1111
母のパート先	●●●・●●●・●●●●	安否確認	171
		関西電力送配電	0800・777・3081
		大阪ガス	0120・5・19424
		上下水道	072・752・1111

緊急時の連絡先を書き込んでおきましょう

災害時における情報入手について

緊急時に備え、事前にアプリの登録など行っておきましょう。

市ホームページ



市公式 SNS

LINE



Facebook




Twitter



危機管理課 Twitter



緊急速報 (エリア)メール	気象庁が配信する「緊急地震速報」「津波警報」および「特別警報」、国・地方公共団体が配信する「災害・避難情報」などを、対象エリアにいる方にブロードキャスト(同報)配信するサービスです。
Yahoo! 防災アプリ	専用アプリに地点登録することで、緊急地震速報や津波、避難情報、大雨による災害などさまざまな防災情報をプッシュ通知で受け取れるサービスです。 
防災行政無線	屋外スピーカーを通じて、避難情報などをお知らせします。聞き取れなかった場合は、専用ダイヤル ☎ 752・2198(有料)で確認できます。

避難支援が必要な方を支える体制づくり

避難行動要支援者とは、災害時または災害が発生するおそれがある場合に、自ら避難することが困難で、円滑かつ迅速な避難のために支援を要する人のことです。市では、以下のような人を対象に避難行動要支援者名簿を作成しています。

生活の基盤が自宅にあり、次のいずれかに該当する人

- 要介護認定3～5を受けている人
- 精神障がい者保健福祉手帳1級を所持する人
- 身体障がい者手帳1・2級(総合等級)の第1種を所持する人(免疫障がいを除く)
- 75歳以上の高齢者のみの世帯の人
- 療育手帳Aを所持する人
- 上記以外で市の支援を必要とする人

次の場合にも名簿に登録するように求めることができます

- 避難支援等関係者などが必要と判断したとき
- 上記要件から漏れた人が自らの命を主体的に守るため、自ら避難行動要支援者名簿への掲載を市に求めたとき

避難行動要支援者名簿を活用し、要支援者ごとに個別避難計画を作成していただき、地域の支援者などと情報を共有することで、普段の見守りや災害が起きたときの避難行動支援が行われるような取り組みを推進してまいります。

皆様のご協力をお願いいたします。

☎ 危機管理課 ☎ 754・6263